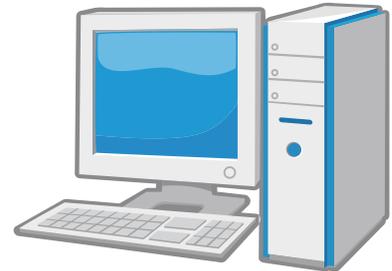


## インストール前の作業

1. まずは、ご使用されるパソコン環境を、きれいにしましょう！

- ウイルスチェック
- デフラグ



ヒント



フォーマット後OS再インストールまたはリカバリーディスクで、工場出荷時の初期状態にされますともっとも、きれいな環境にできます。

2. マニュアルの動作環境・ご使用上の注意・インストール前の注意をよく読みましょう！

マニュアルは製品版印刷または実行ファイルと同じフォルダ内の Help.pdf を参照ください

## 実行ファイル

1. インストール中は、誤検出を防止するために、アンチウイルスソフトを停止またはアンインストールします。
2. 「リカバリーフラッシュ」 setup.exe を実行します。

### 製品版インストール CD の場合



インストール

インストール CD をドライブに挿入すると自動実行されるメニュー画面より、「インストール」ボタンをクリックします。

\* 自動実行されない場合は、CD 内の ¥ AutoRun.exe または ¥ JPN ¥ SETUP ¥ Setup.exe を実行してください。

### ダウンロード圧縮ファイルの場合

ダウンロードした ZIP ファイルを任意の場所に解凍後、フォルダ内の Setup.exe を実行します。

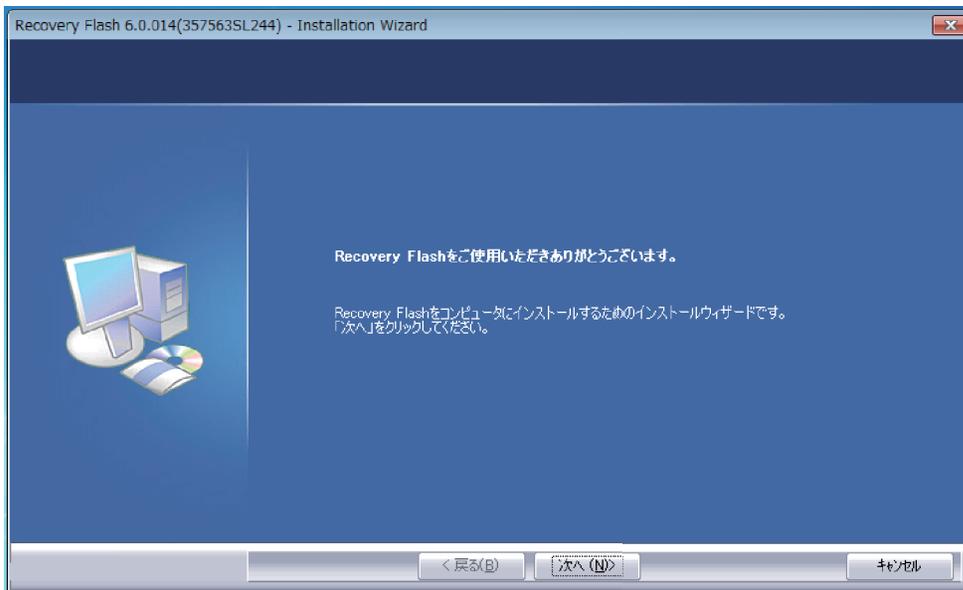


Setup.exe

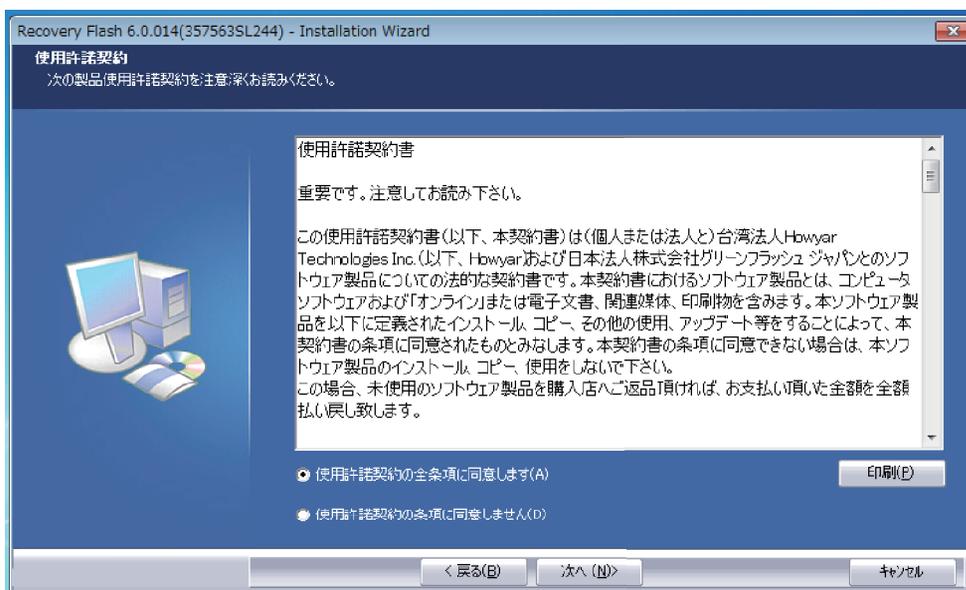
## インストール

ここでは初めてご利用されるユーザー様向けに基本的なインストール設定で解説いたします。  
インストール中の項目につきましては、マニュアルをご参照ください。

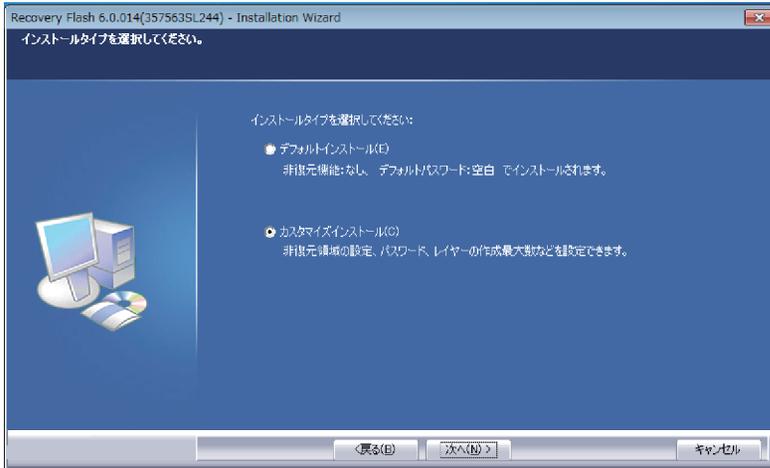
1. Setup.exe を実行すると、下記の画面が表示されます。「次へ」をクリックしてください。



2. 使用許諾契約書をお読みになり、ご同意できましたら  
「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



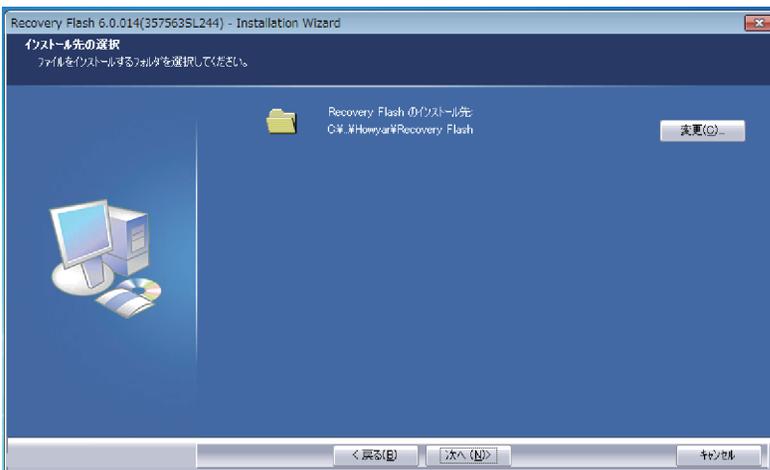
3. 「カスタマイズインストール」にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



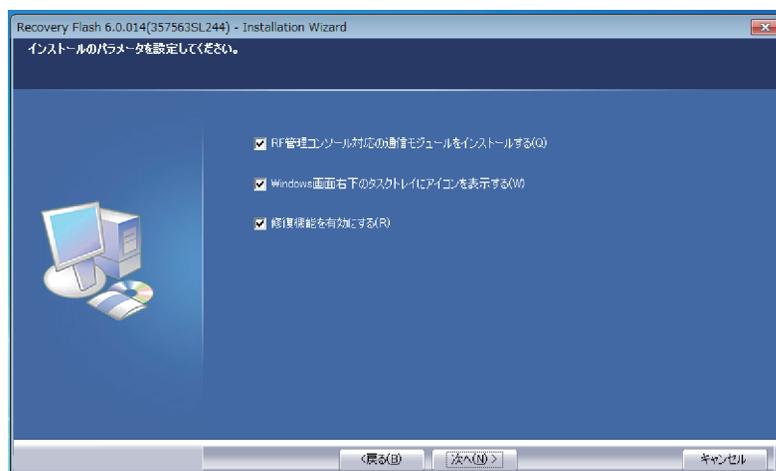
4. ユーザー名および会社名に任意の名前を入力し、「次へ」をクリックします。



5. インストール先フォルダが表示されます。「次へ」をクリックします。



6. 3項目すべてにチェックを入れたまま、「次へ」をクリックします。



7. デフラグ機能無効の設定では、チェックを入れて「次へ」をクリックします。



8. 本製品で保護（修復）するドライブにチェックを入れ「次へ」をクリックします。



一般的なパソコンでは、CドライブがWindowsをインストールした領域になります。この領域は必ずチェックを入れて保護しましょう！



ハードディスクが1台の場合、データ保存用としてCドライブの他にDドライブも作成することをお奨めします。インストールの際に、Cドライブを「保護」、Dドライブを未保護に設定し日常作業で作成した必要なファイルはDドライブに保存すれば、ファイルは修復（削除）されません。

9. 自動修復にチェックを入れます。BIOS 保護モードは特に必要がない場合は未保護にして、「次へ」をクリックします。



インストール後も簡単に変更できます

10. パスワードとレイヤーの最大設定数を指定して、「次へ」をクリックします。

### ① パスワード

個人で使用される場合は、パスワードを設定しないことをお奨めします。

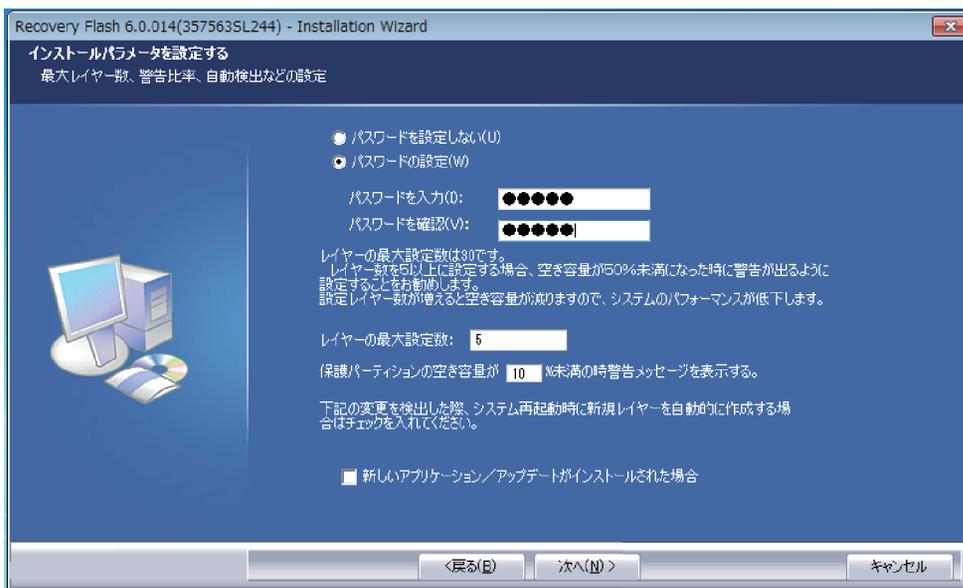
不特定多数のユーザーが使用される場合は、パスワード設定すると良いでしょう。

パスワードをお忘れになりますと、本製品の操作ができなくなりますので、ご注意ください。

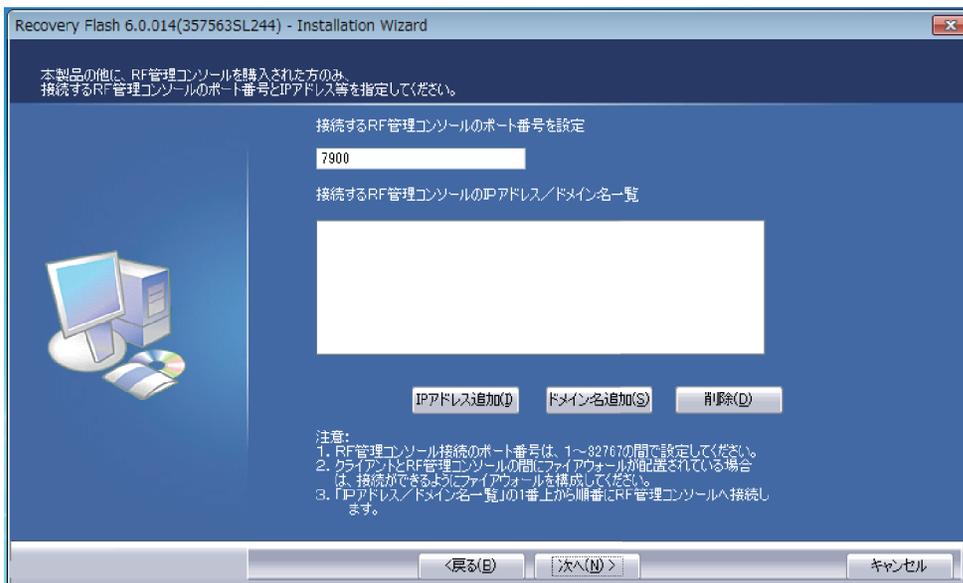
### ② レイヤーの最大設定数

パソコン環境を保存できる数を指定できます。最大 30 まで設定できますが、

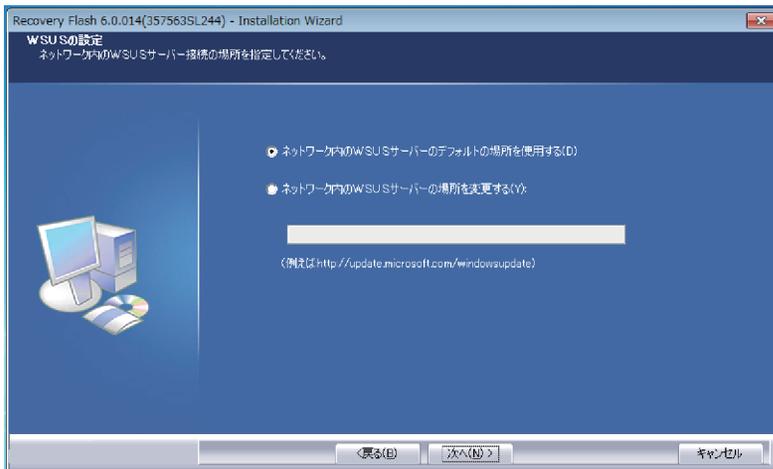
パソコンのパフォーマンスを考えると、5 レイヤーをお奨めいたします。



11. 7900 の入力を確認して、「次へ」をクリックします。



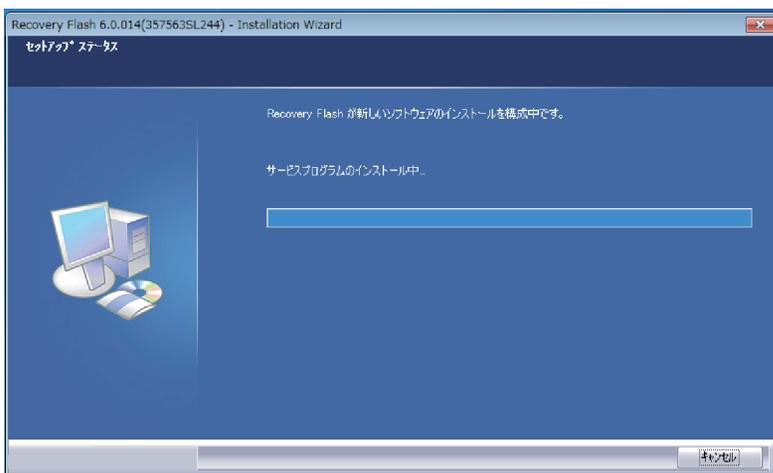
12. 上段にチェックが入っていることを確認して、「次へ」をクリックします。



13. 今までの設定内容が表示されます。内容を確認して「次へ」をクリックします。



14. プログラムのインストールを開始します。



15. 「完了」をクリックします。



①パソコンが自動的に再起動します。

②再起動後、さらにプログラムをインストールします。

③最後に Windows ディスクトップ画面が表示されたら、インストールは完了です。

## 製品版と体験版

インストールしたリカバリーフラッシュは、30日間の体験版となっています。機能は製品版と全く同じですが、正式な製品版としてご利用いただくには、ライセンス登録が必要です。

ライセンス(製品)のご購入は、弊社ウェブサイトで販売いたしております。ぜひ、ご利用ください。

□ <http://www.gfj.co.jp/>

## ライセンス登録

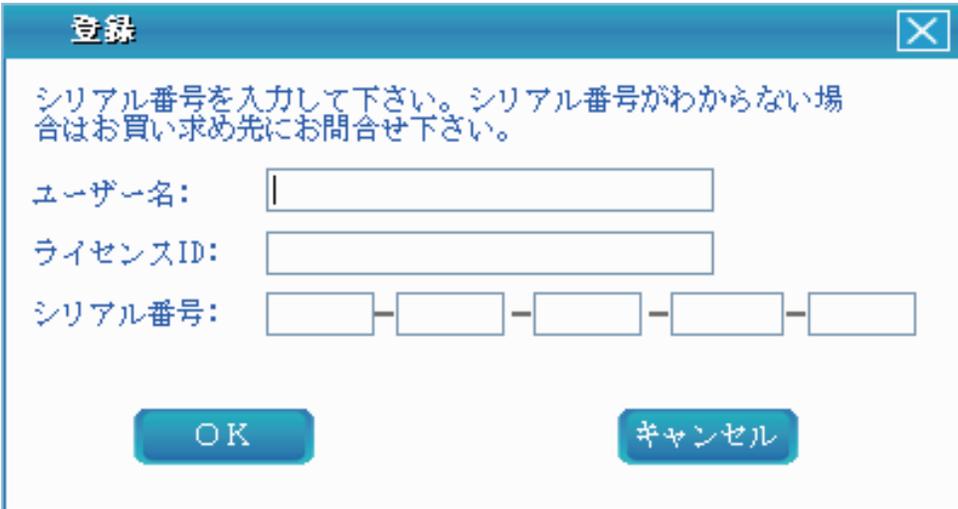
①タスクトレイの  アイコンを右クリックして「登録情報」を選択します。



②表示された画面の「登録」をクリックします。



③任意のユーザー名と発行されたライセンスID・シリアル番号を入力し「OK」をクリックします。

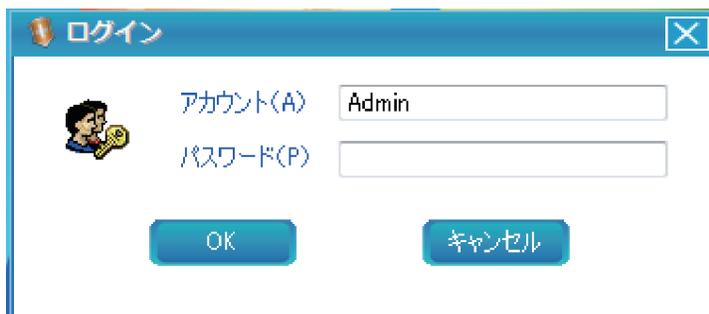


## 操作方法

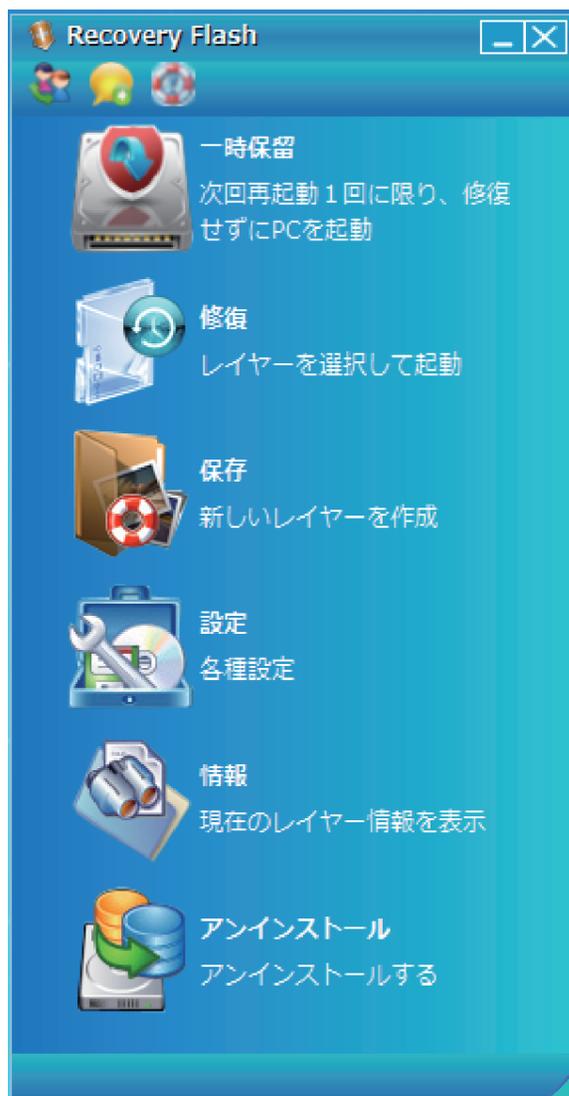
### 1、メニュー表示

①タスクトレイの  アイコンをダブルクリック または、右クリックして「ユーザー画面を表示」を選択します

②ログイン画面が表示されます。パスワードを入力して「OK」をクリックします。  
パスワード設定をしていない場合は、パスワード欄は空白にします。



③メニューが表示されます。



## 2、 起動時の保護モード

「リカバリーフラッシュ」では、2つのモードを使い分けてパソコンを使用します。

### □ 自動修復

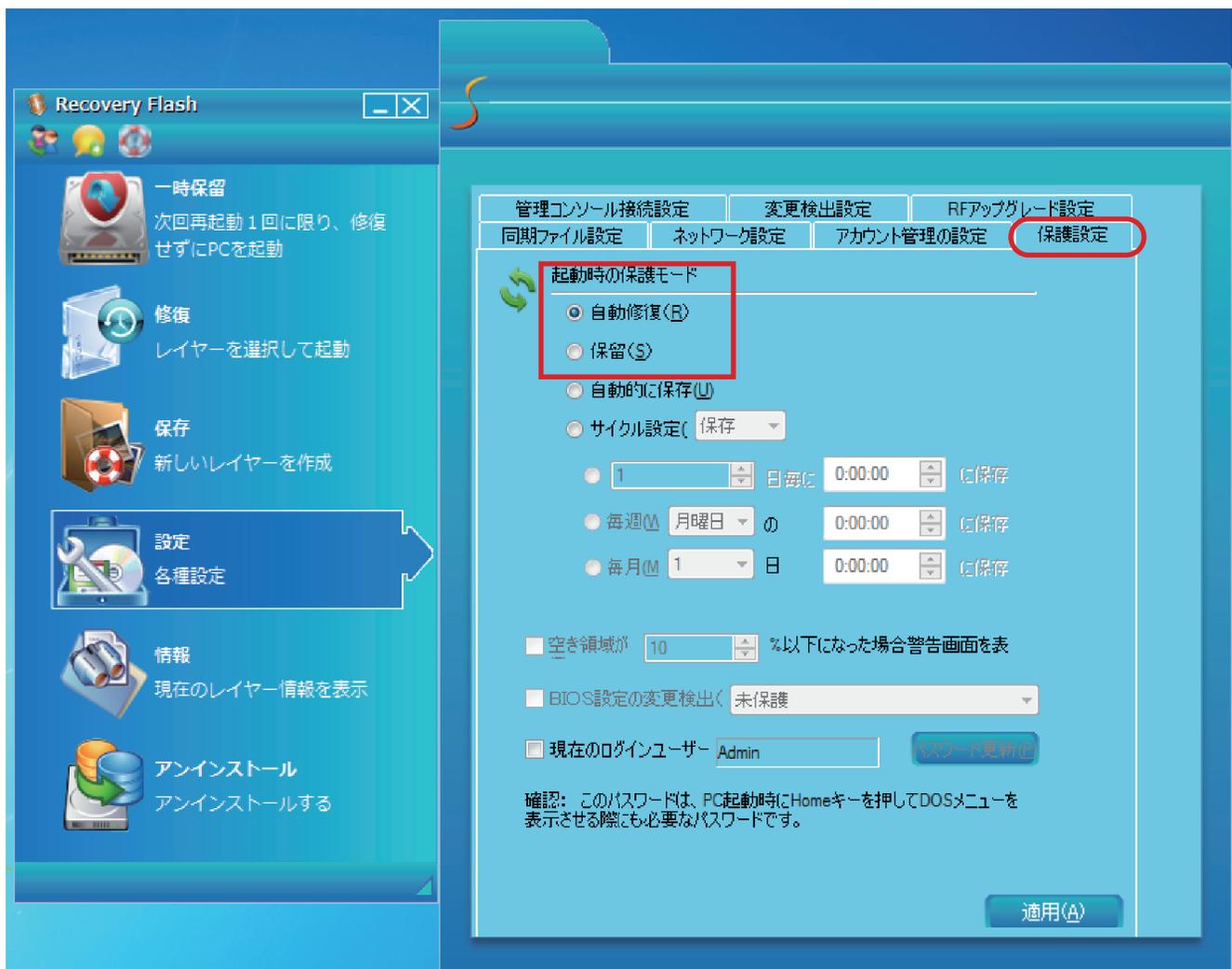
パソコンを再起動する毎に、保存した環境に復元（修復）します。  
それまでの保存していないデータは削除されますので、ご注意ください。

### □ 保留

パソコンを再起動しても、復元（修復）はされません。  
前回の環境をそのまま引き継ぎます。  
新しいアプリケーションのインストールや、各種アップデート時には  
このモードで作業してください。

### < 切り替え方法 >

メニュー「設定」-「保護設定」の自動修復・保留を選択して「適用」をクリックします。



### 3, 保存

アプリケーションの追加時や、各種アップデートを行った時など、現在の環境を保存します。

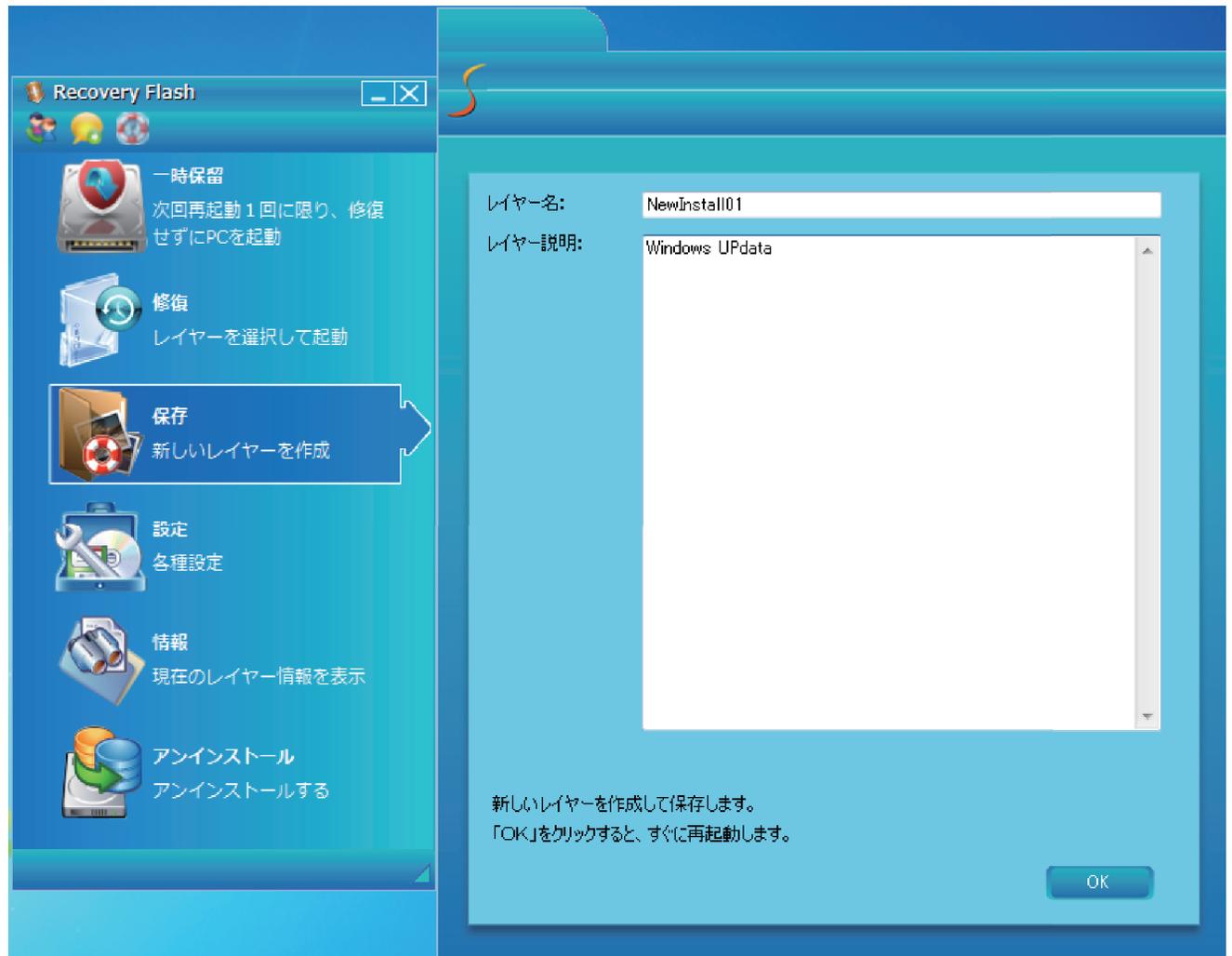
#### < 保存方法 >

メニュー「保存」を選択します。レイヤー名に半角英数字で名前を入力します。

必要に応じてレイヤー説明には、日本語等でわかり易い解説を入力できます。

「OK」をクリックします。

パソコンが再起動して、環境を保存します。



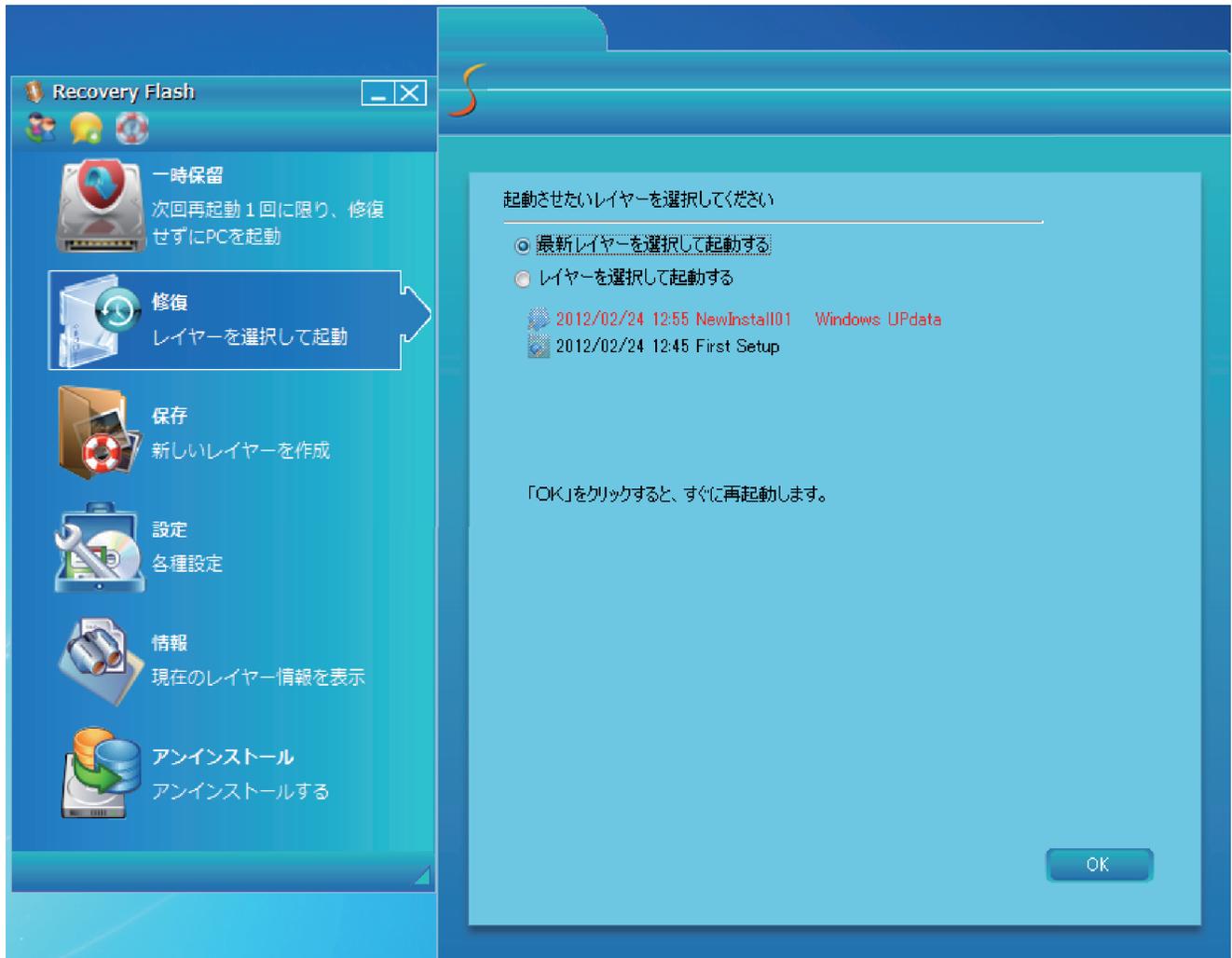
#### 4, 修復

パソコンの調子が悪くなったときや、他の保存した環境で作業したい時に、修復で復元させます。

##### < 修復方法 >

メニュー「修復」を選択します。

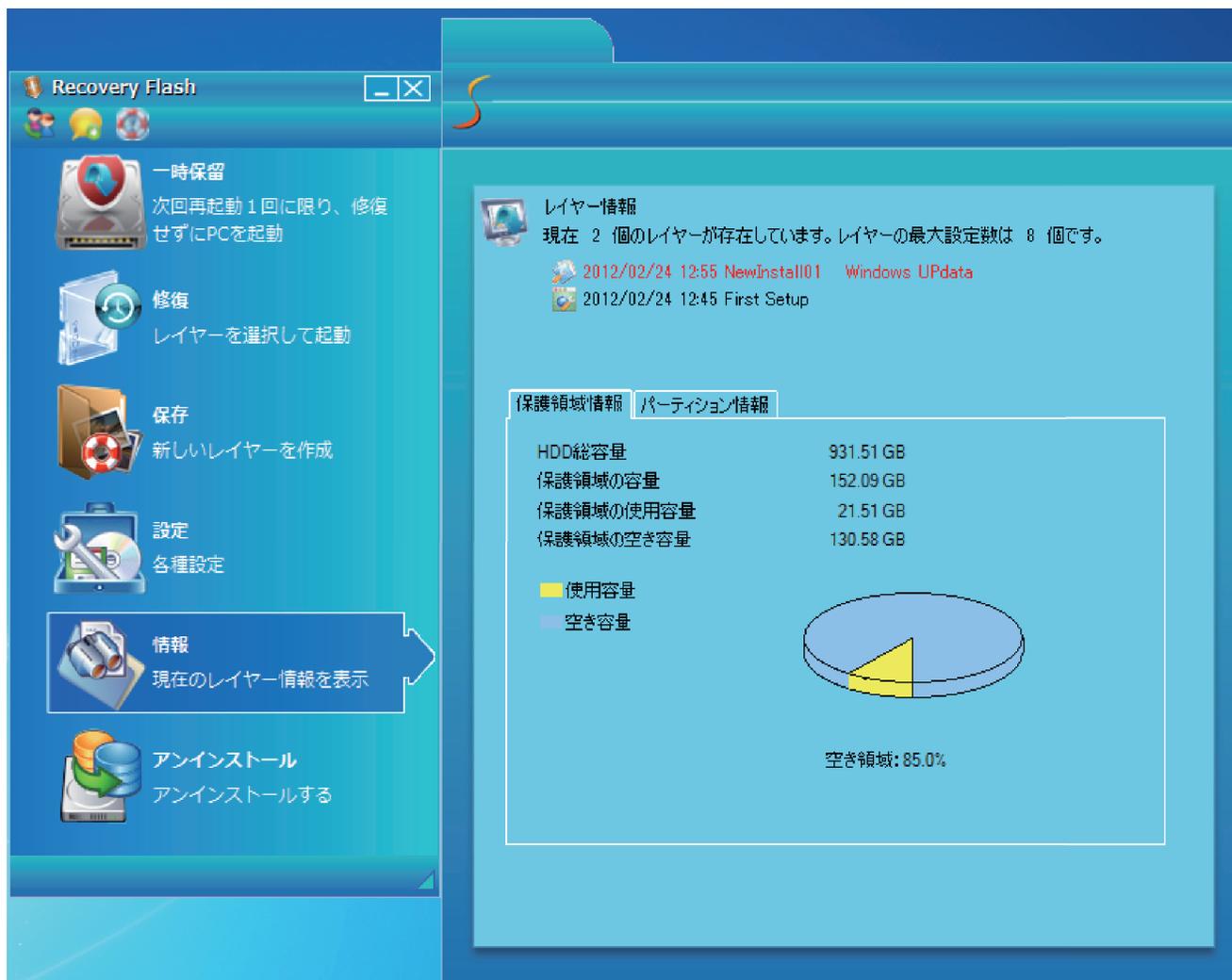
一番最新のレイヤー または 保存したレイヤーを選択して、「OK」をクリックします。パソコンが再起動して、選択したレイヤー（環境）に復元します。



## 5, 情報

ここでは保存したレイヤーの一覧やパーティション情報、ハードディスクの使用容量を表示します。

保護領域情報は、他の保存したレイヤーすべてのデータ容量を表示するため実際のハードディスク使用容量を把握することができます。



## 6, アンインストール

製品を使用しない時や、他のバックアップソフト等でバックアップを行う場合は、メニューの「アンインストール」を選択し、本製品を削除します。詳しくはマニュアル「10. アンインストール」をご参照ください。



\*体験版の使用期限が過ぎた状態で、本製品をアンインストールする場合は、DOS モードメニューより、アンインストールを実行してください。

詳しくはマニュアル 9-2 「DOS 上のメイン操作画面の呼び出し方」  
10-3 「DOS 上でのアンインストール」を、ご参照ください。

## 7, ユーザー画面の切り替え

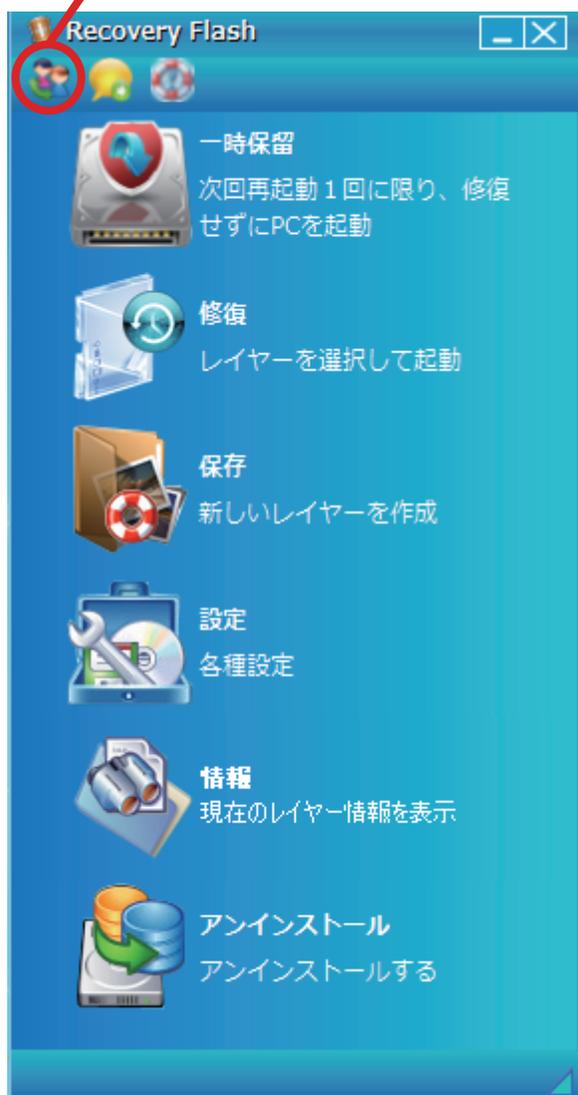
アカウント：Admin（管理者モード）でログインした時は、一般ユーザーモード・管理者モード 2つのメニューを切り替えできます。

管理者モードでは、より高度な設定が可能ですので、ユーザー画面で慣れましたら、ぜひ管理者モードで操作してみてください。



← アイコンをクリックしてモードを切り替え

一般ユーザーモード



管理者モード

